

2. 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	穏やかで明るく過ごせ、かつ、できることは自分でする暮らしを実現するという理念を掲げており、この理念は職員に共有化されている。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を実現するためのケアサービスとはどういうものであるかについて、毎朝の朝礼において、社長自らが職員に周知を図り、日々のケアサービスにおいて実践されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の方々に対して、積極的な交流を図ってきたことが成果を上げてきており、町内会行事への参加、逆にホーム主催の焼肉パーティー、ホーム祭りへの近所の方々が参加するようになるなどの交流が図られている。	○	ボランティアや町内会サークルの来訪（和太鼓、大正琴、マンドリンクラブなど）が盛んになってきたが、今後、さらに地域との交流が図れる機会をつくっていただくことを望む。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度実施した外部評価の結果について職員間で話し合いを行い、改善すべき点については、改善を図っていることは評価できる。外部評価については、サービスレベルを向上させる機会になるという意識を持っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にはそのつど別な地域の人や家族の方々に出席してもらい、さまざまな意見交換を図っている。		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ケアマネがキャラバンメイトとなっていることがきっかけとなり、市の介護予防フェアーでは、相談コーナーを担当する等して、市と共にサービスの質の向上に活かしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に暮らしぶりや健康状態について報告をしている。また、毎月の預り金報告送付の際に、ひだまり通信も同封し、家族へホームでの暮らしぶりを伝えており、家族にも喜ばれていることは評価できる。	○	金銭出納報告については、定期的（1ヶ月を目安）に報告を行うことが望まれる。（出納報告の機会を通じて、利用者の様子を写真、手紙などで伝えるなどの方法も検討いただくことを望む）
8	15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	夏祭り、敬老行事等、年2回は家族に集まってもらうように努めている。また、そのような関係の中で、意見や苦情を述べやすい雰囲気作りをしている。		
9	18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係が壊れないように努めている		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外に出ての研修は、勤務上、なかなか難しいところであるので、積極的な研修の受講はしていない。	○	職員のスキルアップ、ホームのケアサービス向上のために、外部研修参加や他のグループホームへの視察など公平に参加できるよう配慮をしていただくことを望む。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の他のグループホームからの職員の受け入れを行っているが、当ホーム側から行く機会は少ない。	○	他のホームの見学、実習は、ホームにとってもプラスになる機会であるので、是非そのような機会を作っていただくことを望む。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自宅での生活ができるだけ継続できるよう、居宅介護支援、家族、本人とよく話し合いを行い、環境変化によるダメージが少なくなるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	同じホーム内で入居者、職員が生活を共にし入居者にもできることについては役割を担っていただくなど、お互いに支えあいながら生活をしている様子が確認できた。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ入居者の立場に立って考えることができる職員が多くおり、日常生活を通して、本人の希望や意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本位の介護計画の作成に努めている。	○	今後はさらに、本人の意向や入居者にとって有効となる介護計画が作成されるよう、日々のケアやコミュニケーションの中から得られた情報をさらに介護計画に活用いただくことを望む。
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化があったときなど随時見直しを行っている。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院、外出などに対応できるよう、考えた職員配置をしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問看護師に週1回来訪してもらい、診断や健康相談を受けたり、また、近隣の病院からの往診も受けている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に本人、御家族、医師と相談をしながら、希望を組み入れるようにしている。	○	今後の課題として、家族、本人の意向を大切にしながら終末期ケアに取り組んでいただくことを望む。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常会話でのやり取りにおいても、尊厳を損なうことのないように気をつけていることが確認できた。プライバシーや個人情報の取り扱いには十分に注意を払っている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者主体に入居者が生活できるよう、職員は自立支援することを心がけている。また、外出の希望など、できることには極力配慮しながら対応している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度は、できる入居者には協力してもらっている。食事の時間は会話もはずみ、楽しい時間を過ごしていることが昼食を一緒にすることで確認できた。職員は食べこぼしのフォローなど必要に応じてサポートを行っていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者の要望に応じて、時間を変更する等、柔軟な対応をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者には、自分でできることは極力してもらったり、楽しみごとについては、職員が必要に応じてサポートしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の利用者の雰囲気や希望から、急に戸外に出かけたいときには、極力対応することができるよう職員体制を見直している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵はかけないケアを実践している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	近所の方や町内の役員等にも参加してもらい、防火訓練を行うことができた。	○	災害対策はあらゆる場面を想定して、自主的な避難訓練や災害防止に対する職員への啓発を随時行っていただくことを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量は毎回記録し、一人一人の疾病や体調に合わせて支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その日の状況にあった温度、湿度の調整がされている。不快になるような匂いも感じられず、居心地のよい空間づくりに努めている。日中には、入居者と職員が一緒になって曲に合わせて体操を行っているなど、明るく元気なホームであるという印象を持った。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居者それぞれが、自分の好きな工芸品や仏壇を自宅から持ち込むことができ、入居者にとって居心地の良い環境となっている。		

 は、重点項目。